

少人数対話型交流会

東神楽町自立支援協議会主催町民講座

アイリスとしょかん

とき

令和8年1月31日(土)

午後1時30分 受付

午後2時 開始

in ひがしかぐら

場所

東神楽町複合施設

はなのわ

文化ホール 花音

参加申込

下記番号にお電話
でお申込みください。

参加料 無料

障がいを抱える方やその家族など、
社会的マイノリティ(少数派)の方々の
体験談を聞くことを「読書」に見立
て、少人数の対話形式でお話を聞き、
質問や感想を話し合う交流会です。

申込〆切

1月26日(月)

定員 20名(先着)



～参加申込・お問い合わせ～

東神楽町健康ふくし課 社会福祉係

0166-83-5430

(平日 月～金曜日 8時30分～17時15分)

★★ 本たちの紹介 ★★

アイリスとしょかんでは

当事者たちが体験をお話することを本に、話を聞くことを読書に見立てています。今回の本は、以下の方々です。

～～ 当日の日程 ～～

午後 1 時 30 分～	受付
午後 2 時 00 分～	開会
午後 2 時 05 分～	第 1 部読書会
午後 2 時 35 分～	休憩・テーブル移動
午後 2 時 50 分～	第 2 部読書会
午後 3 時 20 分～	休憩・テーブル移動
午後 3 時 35 分～	第 3 部読書会
午後 4 時 05 分	終了

語り手…渡辺さん

「父がかけた『呪い』と妻がくれた『宝物』」

父のかけた呪いが遠因となって双極性障害になった僕。その呪いを解いてくれた妻の言葉とは。

語り手…のりさん

「夢は近づくとも目標が変わる、そして実現する」

13 年間という長い精神科病棟で何があったのかという話と、退院していろいろなステップを踏みながら一般就労までこられた話。

語り手…T.S さん

「病気になった頃とその後のお話」

うつ病になった頃の気持ちと症状が安定してから現在までのお話

語り手…おかざきさん

「精神障害者と言われて 20 年。障害ってなんだろう。」

双極性障害と付き合い始めて、気がつけば 20 年。障害福祉サービスを通して感じてきた「障害」についてお話します。